

園だより



ご卒園おめでとうございます！

—新しい未来への第一歩を祝して—

第一幼稚園 第4号 2014. 3. 17.

園庭には春の訪れを感じるチュウリップの芽がぐんぐんと伸びています。いよいよ明日は『卒園式』。子ども達の園生活を振り返ると、心身の成長を嬉しく思う反面一抹の寂しさを感じます。

明日の卒園式に向けては、「話を聴く」「返事をする」「目と目を合わせる」など日々の生活の中で大切に積み重ねてきたことを基に取り組んできました。特別なことをするのではなく、日頃から意識して行ってきたことがそのまま式のお稽古でも活かされ、まさに“行事は日常生活の延長上にある”ことを子ども達が証明してくれたように思います。子ども達のまっすぐで真剣な眼差しからは、“頑張るときは頑張る”の気持ちがひしひしと伝わってきました。明日は皆、自身に満ちた笑顔で式に臨んでくれることでしょう。

この一年、私達は『子ども自身が自分で考え、判断し、行動していく過程を大切に』過ごしてきました。生活や遊びの場で子ども達が困難にぶつかったときには、直ぐに解決方法を知らせるのではなく、「どうしたらいいのかな。」と言葉を掛け、先ずは自分で考えるよう促してきたところです。安心できる環境の中で、ひとり一人が自分の思い（心）を言葉で相手に伝える経験を通して‘こんなかんがえもあるんだなあ’と相手の思いに気付くことができました。ひとりでは上手くいかないことも、友達と力を合わせることで乗り越えることができたように思います。

また、日常的に続けてきた“良いところみつけ”も「自己肯定感」や「他者との調和・コミュニケーション能力」につながる重要なものとして、互いを認め合う関係づくりの基になっていたような気がします。

子ども達はこれからも様々な困難にぶつかることと思いますが、園生活での経験を活かし決して諦めることなく『やればできる』の気持ちで挑戦してくれるものと信じています。

保護者の皆様には、園のパートナーとして在園中温かいご協力をいただき、本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。お子様は卒園されますが、第一幼稚園はいつまでも‘心のふるさと’として皆様の成長を見守り続けてまいります。いつでもお気軽にお立ち寄りください。



～『ありがとう』の気持ちを込めて～
全職員に年長さんからの手紙が渡されました。

これからも 大切なメッセージを
みんなで伝え合いましょう

食育

園で最後のお弁当だった14日。子ども達から心を込めた「ありがとう」のメッセージが伝えられたことと思います。お母様方が、忙しい中お子様の喜ぶ顔を思い浮かべながら作られたお弁当は、空腹を満たすことプラス何にも負けない‘心の栄養’になったことでしょう。

これからしばらくは『学校給食』にお世話になりますが、朝食・夕食はできるだけ家族揃って食卓を囲み、楽しく食べる習慣をつけていってほしいと思います。

そして、是非子どもたちに『我が家の味』を伝えていってください。

安全

園では、子ども達が自分で自分の身を守るようになるためにはどうすればよいのかを常に考えながら、様々な活動に取り組んできました。園での決まりやバス乗車での約束事を伝える際には、『なぜそれが必要なのか』を分りやすく話してきたところです。

4月からは、歩いての登校となります。登下校中の『安全』に関しては、保護者の皆様がお子様としっかり話し合い、**大切な命は自分で守るという意識付け**を繰り返し行ってほしいと思います。